

18 文化活動の促進

①施策の展開	文化活動の促進	課名	文化スポーツ振興課
②取組概要	<p>活動・発表・鑑賞の場や情報の提供を行うとともに、人材・団体などを育成・支援するなど、市民が自主的に文化活動を行うための条件整備を図る。また、地域交流センターなどを活用し、文化活動の発表の場、鑑賞の機会の充実を図ることにより、市民相互の交流・連携を深める。</p>		
③構成取組	<ul style="list-style-type: none"> (1) 文化施策振興事業 (2) 文化団体の育成支援 (3) <u>アルカスホール</u>⁽³³⁾管理 (4) 市民ギャラリー管理 (5) 池の里市民交流センター管理運営 		

④取組計画	<ul style="list-style-type: none"> (1) 文化のたねを育てよう事業や寝屋川ミュージックデーなど活動・発表・鑑賞の場や情報の提供を行う。 (2) 市民が自主的に文化活動を行うために、人材・団体の育成・支援などの条件整備を図る。 (3) アルカスホールを、文化振興の拠点施設とするため、指定管理者と連携して市民への周知を図り、自主事業を推進することによって、稼働率の向上をめざす。 (4) 市民ギャラリーでは、リニューアルに向けての利用者への周知等に努める。 (5) 池の里市民交流センターでは、利用者が安全で安心して文化・スポーツ活動に取り組める環境づくりのため、本館耐震補強工事を実施する。 		
-------	--	--	--

⑤取組実績

(1) 文化のたねを育てよう事業の音楽分野では、市内のピアノの活用層を発掘・振興するための新たな組織を立ち上げ、その組織との協働によるピアノ活用事業を実施した。その他芸術分野では市内に活動拠点をおく文化芸術団体が交流する「文化のたね見本市」事業を実施した。また、市民文化祭をはじめ寝屋川ミュージックデーや市民たそがれコンサートなど、様々な文化の活動・発表・鑑賞の機会を提供した。

<主な文化施策振興事業の参加状況>

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
文化のたねを育てよう (音楽分野・その他芸術分野)	—	—	1,288 人
寝屋川ミュージックデー	—	—	2,285 人
市美術公募展 (入選作品展)	643 人	—	720 人
市民文化祭	延 10,147 人	延 14,458 人	延 9,885 人
寝屋川音楽祭	821 人	1,071 人	990 人
市民たそがれコンサート	1,080 人	505 人	1,033 人

- 文化スポーツ情報誌「つながる」を、年4回発行し、文化・スポーツイベントの内容など、必要な情報を提供した。

(2) 文化関係団体の相談・支援を行った。また文化振興会議⁽³⁴⁾を3回開催し、「今後、寝屋川市が重点化すべき文化施策について」を諮問するなど、文化振興の促進に努めた。

(3) アルカスホールの指定管理者と連携し、メインホールを中心に、市民に優れた文化・芸術の鑑賞の機会や発表の機会を提供した。

<地域交流センター(アルカスホール)利用状況>

		使用回数 (回)			入場者数 (人)		
		平日	土日祝	合計	平日	土日祝	合計
平成 23 年度	メインホール	63	95	158	16,363	21,903	38,266
	ギャラリーなど その他施設	505	435	940	10,194	12,551	22,745
	合 計	568	530	1,098	26,557	34,454	61,011
平成 24 年度	メインホール	45	103	148	9,881	24,464	34,345
	ギャラリーなど その他施設	581	464	1,045	12,969	12,891	25,860
	合 計	626	567	1,193	22,850	37,355	60,205

平成 23 年度 メインホール 稼働率 44.6%

平成 23 年度 全施設 稼働率 44.0%

平成 24 年度 メインホール 稼働率 43.9%

平成 24 年度 全施設 稼働率 49.6%

<自主事業の実施状況>

①お試しピアノコンサート (5回) 830人

②こどもカーニバル 502人

③ハッピーデイズ 683人

など、計 24 事業 6,981人

(4) 平成 25 年 4 月の駅前図書館開館に合わせ、市民ギャラリーをリニューアルするため、平成 24 年 6 月末で閉館し、7 月より工事を実施した。平成 24 年度の 6 月末までの利用状況は、絵画 5 回、写真 2 回、書道 1 回、他 5 回となっている。

(5) 池の里市民交流センターの管理運営においては、施設利用者が安全で安心して利用できるよう、本館の耐震補強工事を行うとともに、多目的室や体育施設など、適切な維持管理に努め、多くの市民に活動の場を提供した。また、体育施設の耐震補強工事に係る予算措置を平成 25 年 3 月に行い、平成 25 年度に繰り越した。

<多目的室利用状況>

	多目的室1	多目的室2	多目的室3	多目的室4	多目的室5	合計
人数	4,100人	2,289人	3,890人	10,175人	4,629人	25,083人

<体育施設利用状況>

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
団体利用	53,459 人	53,711 人	56,572 人
個人利用	262 人	612 人	477 人
合計	53,721 人	54,323 人	57,049 人

⑥評価

(1) 文化のたねを育てよう事業を実施したことにより、市民の文化活動の実態把握や支援・協働の推進につながり、次年度実施事業に向けた下地づくりができた。市美術公募展の実施など、多くの市民に文化活動・発表の場、鑑賞の機会を提供することができた。また、寝屋川音楽祭など市民と行政が協働することにより、市民の自主的な参画を主体とした事業の推進を図ることができた。一方、市民文化祭では、入場者数や出展作品の減少がみられたことから、今後、増加に向けて検討をする必要がある。

(2) 文化に関わる人材・団体の育成支援は、今後とも市民の文化

活動の実態、ニーズを掌握して適切な方策の検討が必要である。

- (3) アルカスホールの効率的・効果的な管理運営を行うために、指定管理者との間で月例報告会を行い、有効的な活用について意見交換を行うとともに、より適正な管理となるよう、実地調査や指定管理者からの事業報告等による実績検証を実施した。今後も、稼働率の向上はもちろんのこと、さらなる文化振興とにぎわいの創出に向け、指定管理者と協議しながら多様な取り組みを推進していく必要がある。
- (4) 平成 25 年 4 月に開館する駅前図書館への移管に伴う、管理運営の一体化や関連条例等の整備を行った。
- (5) 池の里市民交流センターを市民が安全で安心して利用することができるよう、本館に続き平成 25 年度には体育施設の耐震補強工事を実施する。また、多様な用途に使われている各室のさらなる有効活用を検討していく必要がある。